



モーツァルト室内管弦楽団 第127回定期演奏会

Mozart-Kammerorchester / 127. Regulärkonzert

〈創立40周年記念シリーズ〉第1回

〈モーツァルト・オペラシリーズ〉第8回

《ドン・ジョヴァンニ》K.527

„Don Giovanni“

2009年1月25日(日) 午後3時 ■ いずみホール

Sonntag, 25. Januar, 2009, 15:00Uhr. *Izumi Hall*, Osaka

- 主催：モーツァルト室内管弦楽団
- 協賛：堺シティオペラ
- 協賛：いずみホール(財団法人 住友生命社会福祉事業団)
- マネジメント：大阪アーティスト協会 E-mail:artists@gol.com

〒530-0041 大阪市北区天神橋2-5-25-909 Tel 06-6135-0503



モーツァルト室内管弦楽団 第127回定期演奏会

Mozart-Kammerorchester/127. Regulärkonzert

2009年1月25日(日)午後3時■いづみホール

Sonntag, 25. Januar, 15. Uhr · Izumi Hall

〈創立40周年記念シリーズ〉第1回

〈モーツァルト・オペラシリーズ〉第8回

《ドン・ジョヴァンニ》K.527

W.A. Mozart : „Don Giovanni“

台本/ロレンツォ・ダ・ポンテ (Lorenzo da Ponte)

全曲/演奏会形式上演/日本語字幕(制作:門 良一)

ドン・ジョヴァンニ:マーク・ウォルターズ (バリトン)

ドンナ・アンナ :津山 和代 (ソプラノ)

ドンナ・エルヴィラ :野村 ゆみ (ソプラノ)

ツェルリーナ :石橋 栄実 (ソプラノ)

レポレツォ :松森 治 (バス・バリトン)

ドン・オッターヴィオ:二塚 直紀 (テノール)

騎士長 :木川田 澄 (バス)

マゼット :姚^{ヤオ・インジュン} 盈 任 (バリトン)

合唱:モーツァルト記念合唱団

合唱指揮:益子 務

管弦楽:モーツァルト室内管弦楽団

コンティヌオ・チェンバロ:田中 実子

コンサートマスター:釋 伸司

指揮:門 良一

制作:益子 務、門 良一

序 曲
〔第1幕〕

- No. 1 導入部：レボレッロ、ドンナ・アンナ、ドン・ジョヴァンニ、騎士長「夜も昼も働くのは」
レシタティーヴォ：ドン・ジョヴァンニ、レボレッロ「レボレッロ、どこにいる？」
レシタティーヴォ：ドンナ・アンナ、ドン・オッターヴィオ「お父様が危険な目に」
- No. 2 レシタティーヴォと二重唱：ドンナ・アンナ、ドン・オッターヴィオ「何という痛ましい光景が」
レシタティーヴォ：ドン・ジョヴァンニ、レボレッロ「さてと、急ごうか」
- No. 3 アリア：ドンナ・エルヴィラ、(ドン・ジョヴァンニ、レボレッロ)「誰が教えてくれるでしょう」
レシタティーヴォ：ドンナ・エルヴィラ、ドン・ジョヴァンニ、レボレッロ「どなた?」「や、こりゃなんだ」
- No. 4 アリア：レボレッロ「奥様、これがカタログでございます」
- No. 5 合唱：ツェルリーナ、マゼット、農民の男女「若い娘さんたち、恋をするなら」
- No. 6 アリア：マゼット「わかりましたよ、お殿様」
レシタティーヴォ：ドン・ジョヴァンニ、ツェルリーナ「あの馬鹿者からやっとなんて解放されたな」
- No. 7 二重唱：ドン・ジョヴァンニ、ツェルリーナ「あそこで手を取り合い」
レシタティーヴォ：ドンナ・エルヴィラ、ツェルリーナ、ドン・ジョヴァンニ「お待ちなさい、悪い人」
- No. 8 アリア：ドンナ・エルヴィラ「ああ、裏切り者は消えておしまい」
レシタティーヴォ：ドン・ジョヴァンニ、ドン・オッターヴィオ、ドンナ・アンナ、ドンナ・エルヴィラ
「どうも今日は悪魔が邪魔して喜んでいる」
- No. 9 四重唱：ドンナ・エルヴィラ、ドンナ・アンナ、ドン・オッターヴィオ、ドン・ジョヴァンニ
「信用してはなりません、この悪人を」
レシタティーヴォ：ドン・ジョヴァンニ「憐れで不幸な女です」
- No. 10 レシタティーヴォ：ドンナ・アンナ、ドン・オッターヴィオ「オッターヴィオ、私死にそうよ」
とアリア：ドンナ・アンナ「もうわかったでしょう」
レシタティーヴォ：ドン・オッターヴィオ「どうして信じられようか」
- No. 10a アリア：ドン・オッターヴィオ「あの人の心の安らぎこそ」
レシタティーヴォ：ドン・ジョヴァンニ「結構、結構、大いに結構」
- No. 11 アリア：ドン・ジョヴァンニ「酒が頭にまわるまで」
レシタティーヴォ：ツェルリーナ、マゼット「マゼット、ちょっと聞いて」
- No. 12 アリア：ツェルリーナ「ぶってよ、マゼット」
- No. 13 フィナーレ

* * *

〔第2幕〕

- No. 14 二重唱：ドン・ジョヴァンニ、レボレッロ「ええい馬鹿者、いい加減にしろ」
- No. 15 三重唱：ドンナ・エルヴィラ、レボレッロ、ドン・ジョヴァンニ「ああ静かにしておくれ、悪い心よ」
- No. 16 カンツォネッタ：ドン・ジョヴァンニ「窓辺に出ておくれ」
- No. 17 アリア：ドン・ジョヴァンニ「お前らの半分はこっちへ」
レシタティーヴォ：マゼット、ツェルリーナ「痛い、痛い、頭が痛い」
- No. 18 アリア：ツェルリーナ「ねえあなた、いい子にしていたら」
レシタティーヴォ：レボレッロ、ドンナ・エルヴィラ「松明がたくさん近づいてくる」
- No. 19 六重唱：ドンナ・エルヴィラ、レボレッロ、ドンナ・アンナ、ドン・オッターヴィオ、ツェルリーナ、
マゼット「こんな暗いところに一人で」
レシタティーヴォ：ツェルリーナ、ドンナ・エルヴィラ、ドン・オッターヴィオ、マゼット「ではお前だね?」
- No. 20 アリア：レボレッロ「ああお赦しを、皆さん方」
レシタティーヴォ：ドンナ・エルヴィラ、マゼット、ツェルリーナ、ドン・オッターヴィオ「待て、裏切り者」
- No. 21 アリア：ドン・オッターヴィオ「私のいとしい人を慰めて」
- No. 21b レシタティーヴォとアリア：ドンナ・エルヴィラ「おお神よ、何というひどいことを」
レシタティーヴォ：レボレッロ、ドン・ジョヴァンニ、騎士長「ここで何をなさってるんで?」
- No. 22 二重唱：レボレッロ、ドン・ジョヴァンニ、(騎士長)「ええ、偉大な騎士長閣下の石像様」
レシタティーヴォ：ドン・オッターヴィオ、ドンナ・アンナ「安心してください、あの悪者はまもなく」
- No. 23 レシタティーヴォとアリア：ドンナ・アンナ「冷たいですって?いいえちがいます」
- No. 24 フィナーレ



マーク・ウォルターズ(バリトン/ドン・ジョヴァニ)

彼はクリエーション・オペラをはじめアラスカなど全米の歌劇場や音楽祭において、50以上のオペラやミュージカルの主要な役をレパートリーとして演じてきている。また、20以上のオラトリオ作品を歌って米国有数の歌手として近年急速に注目を集めている。中でもオルフの「カルミナ・ブラーナ」とフォーレの「レクイエム」のソロでのカーネギー・ホール・デビューは高く評価された。2006年以降では「カルメン」のエスカミリオ、「運命の力」ドン・カルロ、「ボエーム」マルチェロ、「こうもり」ファルケなどと、ハイデン「天地創造」など数多く出演している。コンクール歴としてはメトロポリタン・オペラ・コンクールの地区優勝(1995年)、マカリスト賞ファイナリスト(1995、2001年)などがある。



野村ゆみ(ソプラノ/ドンナ・エルヴィラ)

大阪芸術大学演奏学科を経て武庫川女子大学音楽学部音楽専攻科修了。第3回和歌山音楽コンクール声楽部門第2位。友愛リートコンクール本選入賞。第4回大阪国際音楽コンクール声楽部門第2位。ボレンサ国際音楽アカデミー、デビュー賞修得。アルトからコロラトゥーラソプラノまで歌いこなせる音域の広さを持ち、オペラ、宗教曲、ミュージカルなど各種演奏会においてその力を発揮している。オペラでは「フィガロの結婚」伯爵夫人、「ドン・ジョヴァニ」ドンナ・エルヴィラ、「こうもり」オルロフスキー公爵、「アマールと夜の訪問者」お母さんなど多数。茨木市音楽芸術協会、イブシロンオペラアカデミー、関西二期会各会員。



松森 治(バス・バリトン/レポレッコ)

大阪音楽大学卒業、同大学専攻科修了。関西二期会オペラスタジオ修了。オペラでは「魔笛」ザラストロ、「フィガロの結婚」タイトルロール、「アマールと夜の訪問者」バルタザール、「おこんじょうり」じんぞ、その他「サロメ」「バラの騎士」「賢い女」「カルメン」「沈黙」「天守物語」等の脇役や、ベートーヴェン「第九」ソリストでも出演。現在、びわ湖ホール声楽アンサンブル専属メンバーとして多くのコンサートやオペラに出演。関西二期会準会員。



木川田 澄(バス/騎士長)

東京芸術大学及び同大学院修了。文化庁オペラ研修所第一期生修了。文化庁在外研修員として独逸シュトゥットガルト音楽大学で研修。コンサート等のソリストとして活躍すると共に、オペラ経験も豊富でフィガロの結婚、ドン・ジョヴァニ、魔笛、セビリアの理髮師、リゴレット、ドン・カルロ等の主要オペラで好演している。特に、ヴァーグナー作品(さまよえるオランダ人、タンホイザー、ラインの黄金、マイスター・ジンガー、バルジファル

等)に意欲的に取り組み、2000年には邦人による33年ぶりの関西二期会公演「バルジファル」グルネマンツ役では各誌で絶賛された。また、2006年5月に「タンホイザー」(関西二期会)に出演し、6月は同演目での韓国(ソウル)公演でも好評を得た。更に11月には東京シティ・フィルのオーケストラ・オペラ「バルジファル」公演(日生劇場)でも好演している。一方、後進の指導にも情熱を注ぎ有望な声楽家を送り出している。日本ワーグナー協会、関西二期会の各会員。滋賀大学教授。



津山和代(ソプラノ/ドンナ・アンナ)

大阪音楽大学卒業、同大学専攻科修了。東京音楽大学研究科オペラコース修了。東京二期会オペラスタジオ修了。畑中良輔、福澤アクリヴィ、大森地塩の各氏に師事。二期会オペラスタジオ修了公演では「こうもり」のアデーレを演唱。関西二期会では「アルバート・ヘリング」ワーズワースでデビュー。その後「フィガロの結婚」伯爵夫人、「ドン・ジョヴァニ」ドンナ・アンナ、「ラ・ボエーム」ミミ、「椿姫」ヴィオレッタ、「ラインの黄金」フライア、「こうもり」ロザリンド、「オルフエオとエウリディーチェ」エウリディーチェ、「タイドとエネアス」タイド、「アルチーナ」アルチーナ、など数多くのオペラに出演、いずれも好評を得る。また第九、ドイツレクイエム、メサイア、ハイデン「天地創造」、ドヴォルザーク「スカーハトマーテル」、モーツァルト「レクイエム」、モーツァルト「ハ短調ミサ」、ラテ「レクイエム」のソリストを務める他、NHK-FM録音など各種演奏会に出演。チリ国際音楽コンクール第2位、二期会オペラスタジオ優秀賞。東京文化会館推薦オーディション合格。現在、同志社女子大学講師、堺女子短期大学専任講師。関西二期会、京都フランス歌曲協会、堺シティ・オペラ各会員。



石橋栄実(ソプラノ/ツェルリーナ)

大阪音楽大学卒業、同大学専攻科修了。1998年「ヘンゼルとグレーテル」のグレーテル役でデビュー。その好演により、ケムツ市立歌劇場(ドイツ)に同役で招聘出演、同時に欧州デビューを果たす。その後もザ・カレッジ・オペラハウス、兵庫県立芸術文化センター、いづみホール、新国立劇場等の主催公演オペラに数多く出演、いずれも好評を得る。また、リサイタル開催の他、NHK名曲リサイタルや久石譲ジブスタコンサートへの出演等、幅広い活動を行う。宗教曲のソリストとしても活躍。平成12年度大阪府舞台芸術奨励新人。平成17年度大阪府舞台芸術奨励賞、平成17年度音楽クリティッククラブ奨励賞、平成19年度坂井時忠音楽賞受賞。矢野善子氏に師事。堺シティオペラ、クオレの会員。大阪音楽大学講師。



二塚直紀(テノール/ドン・オッターヴィオ)

大阪芸術大学卒業。関西二期会オペラスタジオ修了。仁禮義子氏、木川田 誠氏に師事。第15回摂津音楽祭聴衆審査賞受賞。第32回イタリア音楽コンクール入選。第23回飯塚新人音楽コンクール第1位。平成16年度大阪府舞台芸術新人賞受賞。「フィガロの結婚」ケルツィオ役でオペラデビュー後、「ラ・ディヴィーナ」若手指揮者、「マリツァ伯爵夫人」タシロ、「ポツペアの戴冠」ネローネ、「メリー・ウィドウ」カミュー、「こうもり」アルブレッド、「春琴抄」利太郎、「ジャンニ・スキッキ」リヌッチョ、「ドン・ジョヴァニ」オッターヴィオ、「ファルスタフ」フエントン等に出演。また、ベートーヴェン「第九」、メンデルスゾーン「交響曲 第2番」、クルト・ヴァイル「ベルリン・レクイエム」、ブルクナー「テ・デウム」のソリストをつとめる。現在、関西二期会会員、びわ湖ホール声楽アンサンブル専属歌手、オペラハウス合唱団準員。



ヤオ・インジェン(バリトン/マゼット)

台湾高雄市出身。国立台北師範(国立台北教育大学に名称変更)音楽教育科卒業、東海大学声楽大学院演習修士課程修了。王中堯、陳榮光の各氏に師事。現在は李秀芬氏に指導を受けている。1997年台北市音楽大会南地区大学組ソロ(バス/バリトン)第1位、1998年台湾省音楽大会大学組ソロ(バス/バリトン)優等賞、2003年中山山益全国声楽大会第3位、2004年第4回台北愛楽文教基金会樂壇新人賞、2005年中華民国声楽家協会新人賞、2007年新北芸術第2回星秀選拔大会第2位。また、国際コンクールでは、2005年台湾代表として第3回中国国際声楽大会及びシドニー国際新声楽大会に参加、2007年優れた歌唱能力で阿府院オペラのアトリエに出演者として抜擢された。オペラ分野では、ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」のトラップ大佐、モーツァルト「魔笛」のババゲーノ、モーツァルト「コジ・ファン・トゥッテ」のドン・アルフォンソ、バルゴレージ「奥様中」のウパルト、ベグリーニ「夢遊病の女」のロドルフォ伯爵、ヨハン・シュトラウス「こうもり」の刑務所長フランク、ドニゼッティ「愛の妙薬」のベルコレ等の役を演ずる。またコンサートではソリストとして、バッハ「マニフィカト」、ヘンデル「エジプトのイスラエル人」「ユダス・マカベウス」、モーツァルト「戴冠ミサ」「レクイエム」「ミサ曲ハ短調 K.427」、カール・オルフ「カルミナ・ブラーナ」など、多数出演。



門 良一 ● 指揮

Ryoichi Kado, Dirigent

1939年大阪生まれ。フルートを曾根亮一氏に、指揮法を青山政雄氏に師事。62年京都大学理学部卒業、67年同大学院修了。70年同志とともにモーツァルト室内管弦楽団を創立、常任指揮者となり現在に至る。87年、モーツァルトのピアノ協奏曲全27曲、交響曲全74曲の連続演奏完結に対し、モーツァルト室内管弦楽団とともに第5回藤堂音楽賞を受賞。

現在、NHK大阪文化センター、同神戸文化センター「モーツァルトを聴く」講師。京都産業大学教授。



モーツァルト室内管弦楽団 Mozart-Kammerorchester

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、38年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。'91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで'90年からは大阪いずみホールを本拠として定期演奏会を、また隔年毎に東京定期演奏会を行い既に16回を数えている。海外では'88年にドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョア・ピリス('85、'87年)、シブリアン・カツァリス('93、'94年)、ペーター・ダム('83、'86、'88、'98、'00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル('86年)、ライナー・キュヒル('90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。'91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲などで活発に協演するほか、'93年には堺シテリオペラとの協力による「モーツァルト・オペラシリーズ」を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。'06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。

モーツァルト室内管弦楽団／出演メンバー

コンサートマスター ● 釋 伸 司

第1ヴァイオリン	釋 伸 司	原 田 潤 一	コントラバス	南 出 信 一	ホルン	永 武 靖 子
	中 川 衛 子	北 村 奈 美		中 村 公 美		垣 本 奈 緒 子
	稲 庭 真 理 子	中 塚 真 紀		北 田 由 美	トランペット	森 下 智 稔
	谷 口 朋 子	道 幸 明 美	フルート	大 江 浩 志		池 田 悠 人
	森 住 憲 一	佐 份 利 祐 子		久 保 田 裕 美	トロンボーン	松 田 洋 介
	大 西 秀 朋	三 上 哲	オーボエ	福 田 淳		武 内 紗 和 子
	青 砥 華	土 井 茉莉		伊 賀 上 文 子		今 田 孝 一
第2ヴァイオリン	本 多 智 子	日 野 俊 介	クラリネット	門 小 夜 子	ティンパニ	泉 純 太 郎
	納 庄 麻 里 子	中 村 整		中 尾 さ くら	チェンバロ	田 中 実 子
	池 内 美 紀	仙 波 房 子	ファゴット	佐 伯 利 之	マンドリン	柴 田 高 明
		三 宅 香 織		淡 島 宏 枝		



モーツァルト記念合唱団 (合唱指揮 ● 益子 務)

Mozart-Choral Ensemble (Chor-Dirigent / Tsutomu Masuko)

「本番のステージで柔軟に音楽をすることのできるプロフェッショナルなコーラスがほしい」という、モーツァルト室内管弦楽団の要望を受け、特別に編成された合唱団。女声は堺シテリオペラの選抜メンバー(若手プロ)を中心に、男声は合唱王国関西の著名合唱団の指揮者、パートリーダー・クラスに参加を要請、1991年7月末に発足し、益子 務氏の指揮のもとに練習を開始した。同年12月モーツァルト室内管弦楽団のモーツァルト没後200年記念第48回定期演奏会で「レクイエム」を協演、それ以後、ミサ、オラトリオ、オペラなどで毎年協演し、中でもモーツァルト「ハ短調大ミサ」、「救われたベトゥーリア」、「イドメネオ」、ハイドン「天地創造」、「四季」、ヘンデル「メサイア」、ベルリオーズ「キリストの幼時」などは絶賛を浴びた。93年には初の単独自主公演としてジャンニヌ・ワグナー氏を客演指揮者に迎え「ロジェ・ワグナー・メモリアルコンサート」を開催、大好評を得た。98年、00年の2回、ベルギー・フランドル政府の招きにより文化交流使節としてベルギー演奏旅行を行い、大成功を取めた。00年、創立10周年記念としてCD「ロッシェニ：小荘厳ミサ」をリリース。

モーツァルト記念合唱団／出演メンバー

合唱指揮 ● 益子 務

ソプラノ	川 森 有 希 子	小 山 恵	銭 田 美 幸	御 池 あ ゆ み			
アルト	大 矢 喜 久 子	金 田 智 津 子	林 理 恵	和 田 真 祐 子			
テノール	大 谷 清	河 合 裕 吾	陶 山 悟 嗣	豊 田 耕 平	豊 田 千 之	藤 本 寛 志	古 川 完
バス	小 畠 博	二 階 堂 哲 雄	林 龍 太 郎	ビ ー タ ー ・ フ ィ ン ケ	米 岡 実	渡 邊 守	
練習ピアニスト	田 中 実 子						
字幕オペレーター	横 家 愛 恵						

《ドン・ジョヴァンニ》、この複雑怪奇なオペラ

1782年、《後宮からの誘拐》によりモーツァルトはウィーンでの華々しいオペラ・デビューを飾ったが、その後の4年間はオペラを完成させる機会に恵まれなかった。ようやく完成させた《フィガロの結婚》はしかしウィーンでは当たらず、隣のプラハで大当たりを取った。1787年の1月、モーツァルトはプラハに招かれて《フィガロ》の指揮をとり、次なるオペラの作曲を依頼されたのである。《フィガロ》でコンビを組んだ台本作家のダ・ボンテはモーツァルトのために古くからある「ドン・ファン伝説」を題材にした台本を書いた。という聞こえはいいが、実はその年の初めにヴェネツィアで初演されたベルターティ台本、ガッツァニーガ作曲の《ドン・ジョヴァンニ、または石の客》から拝借したのである。登場人物を若干整理し、筋書きも多少変更してはいるが、現代なら著作権侵害の訴訟沙汰となること必至である。こうして生まれた《ドン・ジョヴァンニ、または罰せられた放蕩者》はその年の10月、プラハで初演されこれまた大当たりとなった。その評判はウィーンに伝わり、皇帝ヨーゼフ2世の命によりウィーンでも上演されたが、受けはそれほどよくなかったという。

このオペラの主人公はご存知ドン・ファンことドン・ジョヴァンニで、女たらしの罪により地獄に落ちるお話である。このオペラは「ドラマ・ジョコーゾ（諧謔劇あるいは滑稽劇）」と名づけられているが、劇の冒頭では殺人が行われ、終幕では地獄からの使者が主人公を地底に引きずり込むという凄惨なシーンがあり、とても滑稽どころではない。そしてモーツァルトがつけた音楽がそれに輪をかけてものすごいのである。このオペラのドン・ジョヴァンニは、次々と女を毒牙にかけようとする悪人であるにもかかわらず、孤独な求道者あるいは殉教の英雄の趣きすら感じさせる。したがってこのオペラは19世紀のロマン主義者たち（この中にはE.T.Aホフマンやキルケゴールが含まれる）に熱狂的に迎えられ、ドン・ジョヴァンニは彼らのアイドルとなったのである。

モーツァルトの音楽が短調で書かれるとき、彼の魂の奥底の何か特別のものが噴き出してくるようだ、とはよく言われる。《ドン・ジョヴァンニ》の主調は二短調であるが、これはピアノ協奏曲第20番や最後の作品「レクイエム」の調であり、「死」のイメージが強い。このオペラの序曲には二短調の序奏があり、終幕の地獄落ちを暗示している。その終幕の場面では、石像とドン・ジョヴァンニとの対話に続いて地獄の亡者どもの合唱が加わってすさまじい劇的迫力が演出される。また、それに先立つ墓場のシーンでは騎士長の石像がしゃべったりうなづいたりするのだが、そこではオーケストラにトロンボーンが使われて特別の雰囲気を作っている。

その他、このオペラにおけるモーツァルトの新機軸としては二つのフィナーレにおける当時としては極めて独創的な工夫が挙げられる。第1幕のフィナーレでは、舞台上に3組のオーケストラが配され、メヌエット、コントルダンス、ドイツ舞曲というテンポもリズムも違う3種類の舞曲を同時に鳴らすのである。第2幕のフィナーレでは、主人公の食事の場面が設定され、管楽8重奏団による食卓音楽のかたちで当時大流行したオペラのメロディが奏されるが、その中にちゃっかり《フィガロ》が入れているのである。

このオペラには、前述の殺人や地獄落ちの場面だけでなく、非常にシリアスな音楽が多い。6年前の記念碑的作品《イドメネオ》の残響が多く聴かれるのである。「諧謔劇」と題されていても、《イドメネオ》のようなオペラ・セリアの要素が非常に強いオペラといえよう。そしてどの部分をとってみても完璧な職人性でもって隅々まで彫琢が施されている。諧謔劇、すなわちオペラ・ブッフアとしては甚だバランスは悪いが、さまざまな工夫が凝らされてサービス精神旺盛な、大胆にして細心、極めてユニークなオペラ作品といえるであろう。複雑怪奇という所以である。

本日の上演では、レシタティーヴォ・セッコ（チェンバロのみの伴奏によるレシタティーヴォ）の一部をカットしています。また字幕作成にあたっては、石井宏訳（グラモフォンCD添付）および海老沢敏訳（音楽之友社刊「名作オペラボックス」所収）の対訳を参考にしました。

《ドン・ジョヴァンニ》の上演に際し各方面に協賛のお願いをいたしましたところ、多くの方々からご賛同を得ました。ここにご芳名を記載させていただき謹んで謝意を表します。ありがとうございました。

高松建設(株)	渡辺 優子	中井 武司	津田 静代	西村 保昭	宮原 孝雄
大日本除虫菊(株)	三石 武男	中井佐和子	松田三紀子	岡田 光夫	山路 龍天
田中 徹	内藤 壽一	福岡 昭吉	井狩 彌介	倉橋 鈴子	山路やゑ子
石上 豊子	杉浦 和子	中嶋 允子	大谷 泰夫	岡部 隆	武本佳代子
宮井 茂治	菅 正徳	河瀬 清子	大谷差智子	植田 伊織	能田 くみ
松井とも子	阿部由美子	桑山 弘	堀岡 幸次	山下 鉄男	小川 雄介
小柳 陽一	安藤 邦洋	塩脇 昭司	稲本 英治	福田 恒	関 歌津子
堀 正二	石本三千也	塩脇 祥子	小寺 範生	南形 徹	藤野 正治
日高 穂	植田 史子	一木 晃	小寺 郁子	中島 勇二	関 満智子
得田 栄蔵	碓井 昭彦	東 武次郎	片桐登紀子	吉田 皓	大西理都子
鳥村 猛	金盛 琢志	佐野 哲郎	中田 洋	阪上 弘仁	伊藤 敏枝
平川美津子	金定 秀光	佐竹 時子	東中 稜代	奥野郷太郎	飯塚 晴子
深田 晴世	金定嘉也子	野崎 志朗	駒井 洋子	奥野 正子	山村 哲夫
福岡 隆子	能田 豊	玉手 隆子	北川 鈴子	高野 章江	深山 浩
松枝 正明	川島 弘章	中村 剛久	邑上治兵衛	鈴木 治郎	三箇山優子
松枝多加子	野村 透	野田 恵美	福谷 巖	福岡 美彦	野々村泰明
馬場 明和	笹川 忠士	村西 禎子	後藤 喬雄	貫井 慶子	
三浦信一郎	祐野 尚子	西川 保子	曲直部健朗	吉村 盛善	
中川 泰幸	高杉 方宏	三島 秀夫	児玉 善治	広岡ひろみ	
三谷 郁子	田中 喬	村上小夜子	畑野 峻	古川 豊男	

1月20日現在
(順不同、敬称略)



TakaMatsu

高松建設株式会社

〒532-0025 大阪市淀川区新北野1-2-3

TEL:06-6307-8101(代)

URL: <http://www.takamatsu-const.co.jp/>

本社・大坂本店、東京本店、東関東支店、埼玉支店、横浜支店、名古屋支店、京都営業支店、神戸営業支店

(東証・大証一部上場)



高松建設

青木あすなる建設

JPホーム

やまと建設(大阪)
日本建商(大阪)
やまと建設(東京)
日本オーナズクレジット

日本建商(東京)
住之江工芸
エムズ

あすなる道路
青木マリーン
大和ロック
東興建設

みらい建設工業
みらいジオテック
テクノマリックス

金剛組
中村社寺
GWA総合サービス



金鳥カイロ

どんと

www.kincho.co.jp

どんと 10個入



貼れるどんと 10個入



どんとであったか!

オペラはドンと! ジョヴァンニ?

会 長 岡 本 道 雄 (京 都 大 学 名 誉 教 授)
理 事 大 西 正 文 (大 阪 ガ ス 株 式 会 社 相 談 役) 谷 口 安 平 (京 都 大 学 名 誉 教 授)
森 井 清 二 (関 西 電 力 株 式 会 社 顧 問) 吉 野 泰 生 (住 友 生 命 保 険 相 互 会 社 会 長)
(50音順)
顧 問 橋 下 徹 (大 阪 府 知 事 : 申 請 中) 平 松 邦 夫 (大 阪 市 長)
伊 藤 郁 太 郎 (大 阪 市 立 東 洋 陶 磁 美 術 館 館 長) 梅 原 猛 (国 際 日 本 文 化 研 究 セ ン タ ー 顧 問)

法人会員 (50音順)

荒川化学工業	住友金属工業	日本通運京都旅行支店	三井住友カード
井上冷熱	住友精密工業	濱田プレス工藝	ワコー
大阪ガス	住友生命保険	林 六	*
関西電力	住友倉庫	福山製紙	日本セルフ
クオーク	ダイキン工業	パナソニック	
阪野商店	大同ケミカルエンジニアリング	丸 紅	
サントリー	高松建設	丸山サービス	

個人会員 (入会順、敬称略)

松井 繁一	安藤 邦洋	藤原 啓助	四宮 孝郎	島村 猛	千宗 守
深田 晴世	橋本 太三雄	山本 初代	三石 武男	河原 恭子	荒木 陽子
河野 幹雄	阿部 由美子	馬場 明和	内藤 壽一	松井 とも子	宮崎 悦朗
河野 奈津子	中川 泰幸	阪野 俊一	小西 信一郎	得田 栄蔵	栗原 順子
福岡 隆子	石上 豊子	森 明子	佐野 廣子	平山 昭邦	谷口 勝昭
梅原 一哲	村本 孝夫	宮川 泰濟	内田 俊策	菱谷 勝次郎	完倉 正信
石本 三千也	松本 幸道	和田 暁夫	神林 恒道	足立 宣治	野口 祐三
田村 真也	笹川 忠士	桑名 孝子	岡野 昌樹	東 武次郎	野口 外志子
竹村 治彦	緒林 桂子	石光 正男	岡野 恵津子	竹林 大	森本 武
岸田 克己	碓井 昭彦	松枝 正明	杉浦 和子	中谷 庄八	小山 浩
梅村 博也	碓井 みち子	松枝 多加子	脇田 修	豊田 紘生	野原 清秀
屋良 記佐治	長井 重龜	光成 博次	多屋 貞男	奥野 哲久	大西 理都子
國友 正和	岸田 多門	植田 史子	野村 透	平岡 龍人	堀 正二
梅田 文一	能田 豊	高杉 方宏	佐野 雅祥	平岡 禮子	中野 勇
稲垣 千代子	森内 達治	川島 弘章	今井 安男	大西 勇	松井 基純
浮田 俊太郎	宮井 茂治	川島 啓助	王手 隆子	飛田 薫	松井 香代子
荻野 伊都子	祐野 尚子	坂本 綽子	野崎 志朗	飯田 祐子	山本 春子
桑山 弘	金定 秀光	中井 武司	橋本 靖昭	森野 多聞	山本 道子
三谷 郁子	金定 嘉也子	中井 佐和子	冠 大五	宮井 芳子	和葉 嘉夫
田中 喬	中條 澄	西森 文彦	有賀 照雄	塩脇 昭司	大磯 隆一
天野 康英	中嶋 允子	岸田 孝之助	佐野 哲郎	塩脇 祥子	中村 多美子
三浦 信一郎	福岡 昭吉	豊田 成子	小柳 陽一	一木 晃	細井 提吉
水島 敬夫	山本 次郎	切畑 敦詞	服部 盛隆	岩崎 弘一	大谷 弘枝
渡辺 優子	菅 正徳	中東 富佐子	田中 四郎	河 清子	満谷 昭夫
平川 美津子	日高 穂	金盛 琢志	村西 良彦	佐竹 時子	

会 費・個人会員につきましては年会費1口2万円です。

・法人会員につきましては年会費1口10万円です。

(有効期間は入会時より1年間です。)

随時ご入会いただけます。

会員の特典・年間6回の自主公演にご招待致します。(1口につき個人各1枚、法人各5枚)

・ご同伴者は10%割引となります。

・関連演奏会のご案内又はご優待を致します。

・定期演奏会プログラムにご芳名を記載させていただきます。

・会報「ディヴェルティメント」をお送り致します。